

報告日 令和7年12月24日
報告回次 1回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	広島県			代表者名	湯崎 英彦
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務局DX推進課	連絡先電話番号	082-513-2471
担当者役職	主任	担当者氏名	上田 幸奈	連絡先E-mail	
住所	730-8511 広島県広島市中区基町10-52				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的な課題への支援	事業名	広島県主催イベント「AIで未来を切り開く～「地域×AI」～広島からの挑戦～（仮称）」の実施					
概要	AI活用による地域課題解決と新たな価値の創出を目指す取組の一環として、行政、企業等多様な来場者が見込まれるAIイベントを開催する。その中で、地域におけるAI活用の可能性について議論するパネルディスカッションにおいて、パネリストとして意見や助言をいただきたい。また、県内学生の行うAIを活用した地域課題解決アイデア発表について、講評をいただきたい。							
支援を求める分野	AI活用 生成AI活用 シェアリングエコノミー その他							

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	787	令和7年12月17日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月3日	事前打合せ（オンライン）	16時00分	16時30分	
2-2.	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	派遣場所	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	石山 アンジュ
評価	良い
上記評価の理由（どのようにところがよかったです等詳細に）	パネルディスカッションで議論したいテーマについて的確に捉えていただき、当日の発言や資料の準備等を行っていただけたこととなった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	5人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	5		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	広島県がAI活用をリードし、地域課題の解決と新たな価値を創出していく取組を進めていることを広く県民に周知するため、「地域×AI」をテーマとしたイベントを開催する。 県全体でAI活用の気運醸成を図るにあたり、この取組が一過性のもので終わることなくステップアップする仕組みに課題を抱えており、産官学など多様な視点でAI活用について議論し、気づきを得ることで、今後の検討へつなげることを目指している。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	事前打合せとして、令和8年2月10日に予定しているイベントにおけるパネルディスカッションの内容等について決定する。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	パネルディスカッションにおけるテーマや議論したいことについてお聞きいただき、それを踏まえて発言内容等をご検討いただき、よりよいディスカッションに向けた打合せを行った。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	イベントでのディスカッション内容等についてすり合わせを適切に実施できた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 事前打ち合わせのため特になし
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	イベント当日に投影する資料については別途ご準備の上メール等でお送りいただく。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのため実施なし
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する 令和8年2月10日にイベントを開催し、広島県の取組や他地域の行政の取組、立場の異なる企業等の取組や意見など、AIに関する具体的な取組事例や多様な考えを広く示すとともに、広島県がAI活用をリードし、地域課題の解決と新たな価値を創出をする取組を進めていることを広く周知する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	「AI活用の先端地」として広島のイメージの向上を図るとともに、地域におけるAI活用の可能性について県民の理解を深めることで、AIの利活用を推進し、住民の幸福につなげる。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

